

令和元年度果樹産地生産性向上セミナー 実施報告書

令和元年 10 月 16 日～17 日開催

農林水産省

九州農政局生産部園芸特産課

開催概要

1. 名 称

令和元年度果樹産地生産性向上セミナー

2. 日 時

セミナー：令和元年 10 月 16 日（水曜日）13:00～17:00

現地検討会：令和元年 10 月 17 日（木曜日） 9:00～12:00

3. 場 所

セミナー：JA させぼホール 4F 大ホール（長崎県佐世保市松浦町 2-28）

現地検討会：JA ながさき西海みかん選果所、畑地灌がい施設整備園

4. 参 加 者

セミナー140 名／現地検討会 130 名

5. セミナー議事内容

（1）研究成果の紹介

○ 農地環境を推定する技術の進歩と農業生産現場における利用

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 西日本農業研究センター

傾斜地園芸研究領域園芸環境工学グループ 上級研究員 植山 秀紀 氏

○ 農業技術学習支援など農業生産支援のための ICT ソリューション

NEC ソリューションイノベータ株式会社 イノベーション戦略本部スマートアグリ事業推進室

プロフェッショナル 犬丸 勤 氏

○ 「ロボット搭載型プレ選果システム」等果実選果システムの進歩

シブヤ精機株式会社 製品企画本部 主管技師 栗田 充隆 氏

○ マルドリ方式を基軸とした高品質カンキツ安定生産のための技術体系

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター

九州沖縄果樹研究調整監 根角 博久 氏

（2）スマート農業実証事業による取組

温州みかんの生産から出荷をデータ駆動でつなぐスマート農業技術一貫体系の実証

スマートみかん生産コンソーシアム 研究代表者 塩谷 浩 氏

（3）果樹における省力樹形と機械化に向けた研究開発

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門

生産・流通研究領域長 草場 新之助 氏

（4）果樹関連事業の紹介

農林水産省生産局園芸作物課 研究専門官 高田 教臣 氏

実施概要

令和元年10月16日（水曜日）、JAさせぼホール（長崎県佐世保市）において、「令和元年度果樹産地生産性向上セミナー」を開催しました。

本セミナーは、果樹の生産現場において、生産者の高齢化や担い手不足が進行し、労働力不足が深刻化している状況を踏まえ、限られた労働力により産地の生産力を強化していくためには、作業の省力化や効率化に資するAI、ICT、ロボット等のスマート農業技術の導入を進める必要があることから、果樹関係者へ同技術の普及を図ることを目的に開催しました。

当日は、当初予定していた定員を遙かに上回る好評ぶりで、140名の方にご参加いただき、九州外（静岡、奈良、和歌山、岡山、広島、愛媛県等）からも多くのご参加をいただきました。ご参加いただいた皆様、大変ありがとうございました。

セミナーは13時00分から開会、はじめに主催者を代表して、九州農政局生産部廣田部長のあいさつ後、開催県を代表して、長崎県農林技術開発センターの荒木所長からあいさつをいただきました。

セミナー前半は、研究成果の紹介として、4名の講師から発表いただき、後半は、スマートみかん生産コンソーシアムの塩谷代表から「スマート農業加速化実証プロジェクト」における取り組みの紹介、農研機構果樹茶業研究部門の草場生産・流通研究領域長からは、「果樹における省力樹形と機械化に向けた研究開発」をテーマにお話をいただきました。

最後に、農林水産省生産局園芸作物課の高田研究専門官より令和2年度概算要求中の果樹農業生産力増強総合対策等、果樹への支援対策について説明後、スマートみかん生産コンソーシアムの塩谷代表からあいさつをいただき、セミナーを閉会しました。

セミナーの様子

◆ 開会あいさつ



九州農政局生産部
部長 廣田 明



長崎県農林技術開発センター
所長 荒木 誠 氏

◆ 研究成果の紹介

【議 題】

農地環境を推定する技術の進歩と
農業生産現場における利用



農研機構西日本農業研究センター
上級研究員 植山 秀紀 氏

【議 題】

農業技術学習支援など農業生産支
援のための ICT ソリューション



NEC ソリューションパートナー株式会社
プロフェッショナル 犬丸 勤 氏

【議 題】

「ロボット搭載型プレ選果システム」
等果実選果システムの進歩



シブヤ精機株式会社
主管技師 栗田 充隆 氏

【議 題】

マルドリ方式を機軸とした高品質カン
キツ安定生産のための技術体系



農研機構九州沖縄農業研究センター
研究調整監 根角 博久 氏

【議 題】

温州みかんの生産から出荷をデータ駆
動でつなぐスマート農業技術一貫体系
の実証



スマートみかん生産コンソーシアム
代表 塩谷 浩 氏

【議 題】

果樹における省力樹形と機械化に向け
た研究開発



農研機構果樹茶業研究部門
生産・流通研究領域長 草場 新之助 氏

【議 題】

果樹関連事業の紹介



農林水産省生産局園芸作物課
研究専門官 高田 教臣 氏

セミナー会場全体



現地検討会概要

翌 17 日（木曜日）9:00 からは、スマートみかん生産コンソーシアムにおける取組状況について現地検討会を開催しました。

同会についても、130 名の方にご参加いただき、スマート農業技術への関心の高さが伺われました。

同会は、ロボット搭載型プレ選果システムや遠隔監視型予措・貯蔵システムの実証を行っている「JA ながさき西海みかん選果所」とクラウド型かん水コントローラー等の実証を行っている畑地灌がい施設整備園において実施しました。

各システムの機能や実証状況について、担当者から説明を受けた参加者の皆様から多くの質問があるなど、有意義な意見交換が行われました。

現地検討会の様子

予措・貯蔵システムの説明



営農指導支援システムの説明



ロボット選果システムの説明



かん水コントローラーの説明



その他(セミナー開催チラシ)

令和元年度 果樹産地生産性向上セミナー **入場無料** **定員100名**

令和元年 10月16日 水 **13:00~17:00**
セミナー
 場所：J Aさせぼホール (長崎県佐世保市松浦町2-28)

10月17日 木 **8:30~13:00**
現地検討会
 場所：ながさき西海農業協同組合 みかん選果所 ほか

セミナー 10月16日 水 13:00~17:00
 場所：J Aさせぼホール (長崎県佐世保市松浦町2-28)

農地環境を推定する技術の進歩と農業生産現場における利用
 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 西日本農業研究センター上級研究員 **植山 秀紀 氏**

農業技術指導支援など農業生産支援のためのICTソリューション
 NECソリューションイノベータ株式会社イノベーション戦略本部 スマートアグリ事業推進室プロフェッショナル **犬丸 勤 氏**

「ロボット搭載型プレ選果システム」等果実選果システムの進歩
 シブヤ精機株式会社 製品企画本部主管技師 **栗田 充隆 氏**

マルドリ方式を基軸とした高品質カンキツ安定生産のための技術体系
 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 九州沖縄果樹研究調整監 **根角 博久 氏**

基調講演

講演1 温州みかんの生産から出荷をデータ駆動でつなぐスマート農業技術一貫体系の実証
 スマートみかん生産コンソーシアム 研究代表者 **塩谷 浩 氏**

講演2 果樹における省力樹形と機械化に向けた研究開発
 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構果樹茶業研究部門 生産・流通研究領域長 **草場 新之助 氏**

【主催】農林水産省九州農政局 【共催】スマートみかん生産コンソーシアム
 【協賛】ながさき西海農業協同組合 【後援】長崎県

セミナー会場(4F大ホール)

現地検討会 10月17日 木 8:30~13:00
 場所：ながさき西海農業協同組合みかん選果所 畑地灌がい施設整備園 (佐世保市針陽地区)

◆ 行程

佐世保駅発 (8:30)
 ▼
 ながさき西海農業協同組合 みかん選果所 (9:30~10:30)
 ▼
 畑地灌がい施設整備園 (11:00~12:00)
 ▼
 佐世保駅着 (13:00)

佐世保駅 集合場所

※1 集合時間 (8:30)
 集合場所：JR佐世保駅西口(みなと口側)
 ※2 現地へは貸切バスを運行しますが、事前の登録が必要です。
 詳細については、九州農政局のホームページの下記URLにてご確認ください。
<http://www.maff.go.jp/kyusyu/press/tokusan/190904.html>

<お問合せ先>
 九州農政局生産部園芸特産課 新地、菊池
 代表：096-211-9111 (内線4465、4472) ダイアルイン：096-300-6252、096-300-6256